

brother
at your side

100th
Anniversary
歴史を未来につなげてゆく
1908-2008



株 | 主 | 通 | 信

第116期決算

2007年4月1日から2008年3月31日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第116期(2007年4月1日から2008年3月31日まで)の株主
通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2008年にブラザーグループは創業100周年を迎えました。
ひとえにお客様やビジネスパートナー、そして株主の皆様など
関係各位によるお力添えの賜物と、心より御礼申し上げます。
ブラザーグループは1908年にミシン修理業の「安井ミシン
商会」として創業し、創業者兄弟らによりミシンの国産化に
成功しました。その後、ミシンからプリンティング分野へと
成長を支える事業は時代とともに変化してまいりましたが、
モノ創りに情熱を持ち、常に新しいことに挑戦する創業以来
の精神は今も変わりません。

ブラザーグループは2012年度を最終年度と
する中長期ビジョン「グローバルビジョン21」
の実現を目指し活動しております。2008年
度から最終段階である中期戦略「CS B2012」
がスタートし、プリンティング事業の拡大と新規
事業の育成に取り組むなど、今後も更なる成長
に向けグループ一丸となって邁進してまいり
ます。株主の皆様におかれましても何卒一層
のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役会長

代表取締役副会長

安井義博 平田誠一

01 株主の皆様へ

02 目次

03 トップメッセージ

新中期戦略「CS B2012」がスタートしました



07 連結業績の概要

2007年度の営業概況／2008年度の業績見通し／配当金について

09 主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業／パーソナル・アンド・ホーム事業
マシナリー・アンド・ソリューション事業



12 株主アンケート結果のご報告

13 トピックス

ブラザーグループは創業100周年を迎えました
家庭用ミシン生産累計4,000万台を達成



15 連結財務諸表 1 貸借対照表(要旨)

17 連結財務諸表 2 損益計算書(要旨)／キャッシュ・フロー計算書(要旨)／株主資本等変動計算書(要旨)

19 連結経営指標

20 単独財務諸表 貸借対照表(要旨)／損益計算書(要旨)／株主資本等変動計算書(要旨)

21 株式の状況

22 会社の概要

この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、様々なリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があることをご承知おきください。

この株主通信に記載の表示金額は、億円未満は四捨五入、百万円未満は切り捨てで表示しています。また、各種比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

▲ トップメッセージ

▶ 中長期ビジョン「グローバルビジョン21」の実現に向け、2008年4月から新中期戦略「CS B2012」がスタートしました。

ブラザーグループでは「グローバルビジョン21」の実現に向け、2003年度から2012年度までの10年間で3つの段階に分けて目標を設定し、戦略を進めてきました。このたび10年間の折り返しを迎えるにあたり、後半5年間のロードマップとして2008年度から2012年度までを対象とする新中期戦略「CS B2012」を策定し、戦略を明確にしました。

グローバル
ビジョン21

- ① 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
- ② 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
- ③ 「At your sideな企業文化」を定着させる

第1段階（2003～2005年度）

CS B2005
「高収益の継続と将来への
技術投資の両立」

第2段階（2006～2007年度）

CS B2008
「成長のドライブ」

第3段階（2008～2012年度）

CS B2012
「グローバルビジョン21の実現」

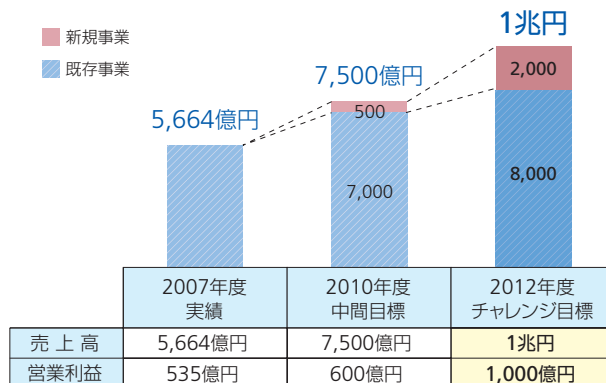
●プリンティング事業の最大化 ●新規事業の育成・拡大

グローバル
ビジョン21

「CS B2012」では「グローバルビジョン21の実現」をテーマとして、プリンティング事業の最大化と新規事業の育成・拡大を図り、2012年度に売上高1兆円、営業利益1,000億円という目標に挑戦していきます。また2010年度までの中間目標を合わせて設定し、「グローバルビジョン21」実現に向けて必要な施策を着実に実行していきます。

設備投資および 戦略投資（M&A等）	約3,500億円／2012年度までの5年間 約2,000億円／2010年度までの3年間
研究開発費	連結売上高比率 年6%程度 約1,300億円／2010年度までの3年間

■ CS B2012のチャレンジ目標



「CS B2012」の重要施策

- ① プリンティング事業におけるグローバルプレーヤーとして独自の地位確立
- ② 新規事業の育成・拡大
- ③ P&H、M&S事業における特定分野でNo.1の地位確立と収益体質のさらなる強化
- ④ その他（新しい組織体制の構築・品質マネジメントの強化・人材の充実・CSR経営の推進と定着）

代表取締役社長
小池 利和



1. プリンティング事業におけるグローバルプレーヤーとして独自の地位確立

《“カラーのブラザー”という市場ポジションの確立》

カラーレーザー市場は、先進国を中心に大きな成長が期待されています。この地域において、ブラザーが得意とする小型複合機・プリンタで事業の拡大を目指します。

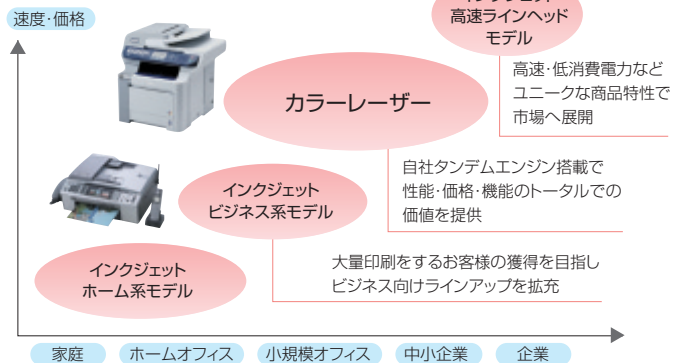
また、カラーインクジェット分野では、ビジネス系モデルの強化と高速ラインヘッドモデルの投入により、SOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）や中小企業向けに加え、企業内での部・課単位での使用を想定した大企業向けなど、大量印刷の需要が見込まれる市場の開拓を図ります。これらの取り組みにより、「カラーのブラザー」を強力に推進していきます。

《モノクロレーザー事業の最大化》

BRICs※や中東欧を含む新興国地域での事業規模の拡大を目指し、小型モノクロレーザープリンタ・複合機でトップクラスの地位を堅持します。

※BRICs: B（ブラジル）、R（ロシア）、I（インド）、C（中国）の4カ国

■ カラーのブラザーの推進



《電子文具事業の強化》

主に欧州やアジアでの販売強化を図るとともに、特定用途市場向けに、お客様のニーズに基づいて製品とシステムを一体で提供するソリューション提供ビジネスで、新たな市場の開拓を推進します。そのために、外部リソースについても、M&Aや業務提携を含め、積極的に活用していきます。

2. 新規事業の育成・拡大

《新たな事業の柱を構築》

ブラザーでは、ワークスタイルの変化、ネットワーク環境の変化、コンテンツの大容量化といった変化を捉え、次世代の核となるような様々な技術の研究開発を進めてきました。これらの技術と事業基盤をいかし、2つの分野(ネットワークイメージングデバイス事業・ネッ

トワーク&コンテンツ事業)で新規事業を創出します。事業化を加速させるため、積極的にM&Aや業務提携を検討するほか、ベンチャー投資などの活用も含めて新規技術・事業アイデアの取り込みを進め、次世代の柱となる事業を構築します。

ネットワークイメージングデバイス事業

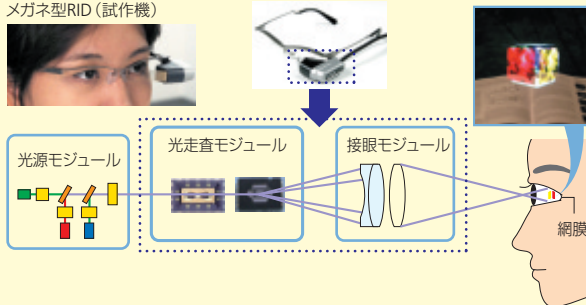
MEMS※1、光学システム、RFID※2などの技術やモノ創り力をいかし、SOHOや中小企業向けを中心に、ワークスタイルの変化に対応する小型・軽量・省電力を追求した製品を提供します。また、これらの製品をソフトウェアやネットワークと一体で提供することにより、お客様に高い付加価値を提供していきます。いつでもどこでも、安心安全に仕事ができるよう、多様化するお客様のワークスタイルを支援していきます。

※1:「微小電気機械システム」。半導体プロセス技術を利用した小型のメカニカルデバイスや構造体のこと

※2:カード状やタグ状の無線ICチップを用いて無線通信によるデータの記録・読み出しを行い、人・モノを識別・管理する仕組み

■ 開発例:網膜走査ディスプレイ (RID = Retinal Imaging Display)

メガネ型RID (試作機)



ネットワーク&コンテンツ事業

信頼性が高く、低コストで大容量データを配信できるブラザー独自の技術を用いたインフラ提供サービスや、ユニークなコンテンツ配信事業を展開します。現在コンテンツ配信事業を行っているグループ会社、株式会社エクシングが持つ事業基盤やコンテンツ制作能力も積極的に活用し、独自のサービスを提供していきます。

この中で、現在事業化段階にある技術が次世代コンテンツ配信システム「Einy (アイニー)」です。既存の方式と比べ、低コスト、高セキュリティに、高画質の動画などの大容量データ配信が可能な「Einy」を利用し、ビデオ・オン・デマンドやeラーニングなど様々な配信事業を行いたいというお客様に対して、配信プラットフォームを提供します。

■ Einy On-Demand (アイニー オンデマンド)



■ Einy Broadcast (アイニー ブロードキャスト)



3. パーソナル・アンド・ホーム事業とマシナリー・アンド・ソリューション事業における特定分野でNo.1の地位確立と収益体質のさらなる強化

パーソナル・アンド・ホーム事業（家庭用マシン）とマシナリー・アンド・ソリューション事業（工業用マシン・産業機器）においては、引き続き収益性を重視し、ブラザーの強みをさらに強化することで、特定分野で「きらりと光るNo.1」の地位を確立します。

家庭用マシン事業では、新たな顧客価値を提供するとともに、新興

国地域での販売拡大を目指します。また、工業用マシン事業では提案型営業力を強化し、「カテゴリーNo.1」商品を提供していきます。産業機器事業は、市場の需要変動や景気変動に対応できるようにさらなる体質強化を図ります。

これらの取り組みにより、高い収益性の確保を目指します。

4. その他

《新しい組織体制の構築》

プリンティング事業と新規事業を本社機能と一体化した組織体制にします。経営資源を集中し、迅速な意思決定を行うことができる体制を整えることにより、プリンティング事業の拡大と新規事業の成長を加速させます。

《品質マネジメントの強化》

「ブラザー・バリューチェーン・マネジメント (BVCM)※」を強化し、品質をさらに向上させる施策や仕組み作りを進め、お客様にさらに満足いただけるよう、よりすぐれた品質の製品、サービスを提供します。

※デマンドチェーン、コンカレントチェーン、サプライチェーンから構成される
ブラザーのモノ創りの基本コンセプト

《人材の充実》

研究開発部門や製造系部門において人員を大幅に拡充して早期の育成を図り、研究開発体制を強化するとともに、開発設計業務を中心に人材のグローバル化を図ります。

《CSR経営の推進と定着》

CS（お客様満足）とES（従業員満足）のさらなる強化とともに、グループ全体で環境対応力の強化を図ります。

連結決算の概要

2007年度の業績概況

2007年度のブラザーグループの売上高は、通信・プリンティング機器や産業機器が堅調に推移したことや、主にユーロに対する為替のプラス影響などにより、事業譲渡などの減収要因があるものの前年度比0.7%増の5,663億7千8百万円となりました。営業利益は、研究開発費を含む販管費の増加があるものの、為替のプラス影響などにより前年度比4.4%増の535億3百万円、経常利益は前年度比2.3%増の465億3千5百万円となりました。当期純利益は、税効果会計の影響による法人税等調整額の増加により、前年度比6.1%減の271億1千万円となりました。この結果、売上高、営業利益、経常利益は過去最高となりました。

◎ 2007年度 連結業績

売上高	5,664億円
営業利益	535億円
経常利益	465億円
当期純利益	271億円

※2007年度連結業績における平均為替レートは次の通りです。
米ドル 114円、ユーロ 162円

2008年度の業績見通し

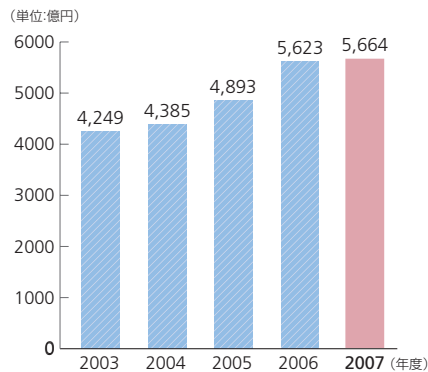
2008年度の業績見通しにつきましては、為替のマイナス影響があるものの、主に通信・プリンティング機器におけるレーザーおよびインクジェット事業での売上増加により、売上高は対前年度で増収の5,700億円を見込んでおります。利益面では、為替のマイナス影響と研究開発費を含む販管費と償却費の増加により、営業利益、経常利益ともに減益の450億円、440億円の見通しです。当期純利益につきましては、営業外損益における為替差損の減少と、2007年度にありました税効果会計の影響による法人税等調整額の増加影響がなくなるため、増益の285億円を見込んでおります。

◎ 2008年度 連結業績の見通し

売上高	5,700億円
営業利益	450億円
経常利益	440億円
当期純利益	285億円

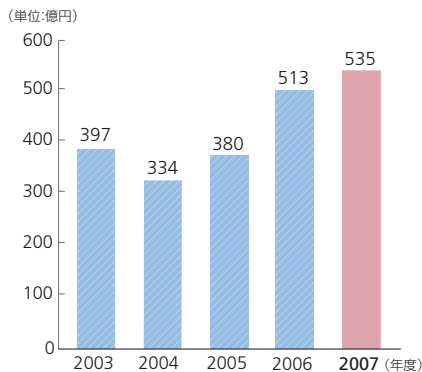
※2008年度連結業績見通しは以下の為替レートを前提としております。
米ドル 100円、ユーロ 155円

■ 売上高

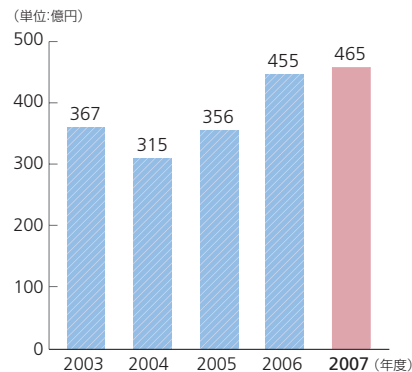


※2005年度の数値は、決算期変更による影響を調整した参考値です。

■ 営業利益



■ 経常利益

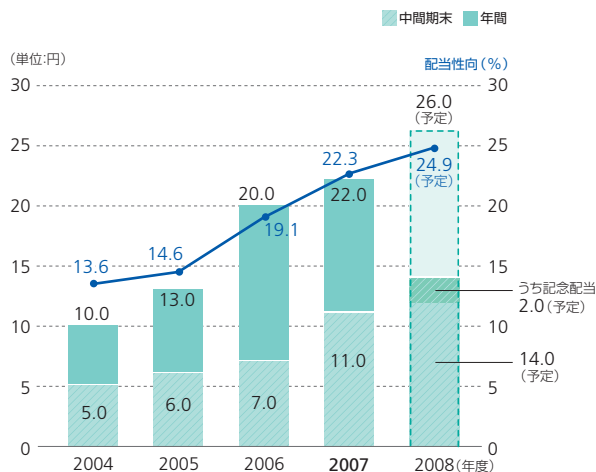


配当金について

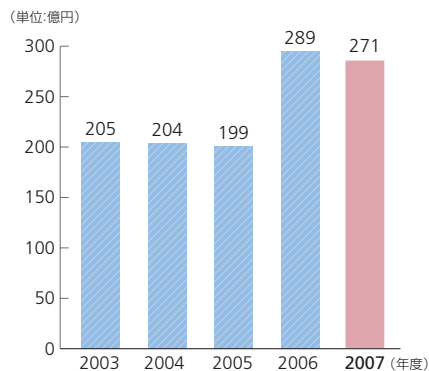
株主の皆様への配当金につきましては、将来の成長のための投資に必要な内部留保の確保やキャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じた積極的な利益還元を実施することを基本方針としており、中長期ビジョン「グローバルビジョン21」の実現に向けて積極的な投資を行う一方、連結配当性向30%の早期実現を目指し利益還元を高めてまいります。

この方針をふまえ、2007年度の配当金につきましては年間22円（中間期末配当11円、期末配当11円）とさせていただきます。2008年度につきましては、引き続き堅調な業績を見込み、年間で前年度比2円の増配に加え、2008年4月に創業100周年を迎えたことを記念し、中間期末に2円の記念配当を行う予定です。従って年間配当は4円増配の26円（中間期末配当14円／うち記念配当2円、期末配当12円）を予定しております。

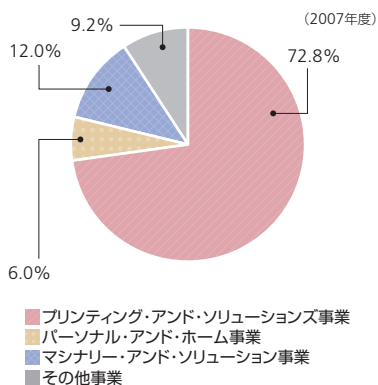
■ 1株当たり配当金



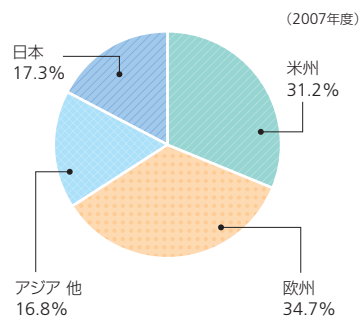
■ 当期純利益



■ 事業セグメント別売上高の構成比



■ 市場別売上高の構成比



主要事業セグメントの営業概況

Printing and Solutions

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

〈事業紹介〉 高速・高画質を追求したプリンタ、ファクス、プリンタ・コピー・スキャナなどの機能を一台に搭載した複合機、また、全世界で高いシェアを誇るラベルライターなど、SOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）や企業内ワークグループに便利で快適なプリンティング・ソリューションを提供しています。

〈主要製品等〉 ファクス、プリンタ、デジタル複合機、電子文具、タイプライター

〈売上高〉 4,126億1千4百万円

●通信・プリンティング機器

米州において減収となりましたが、欧州とアジアで堅調に推移し、為替のプラス影響もあり、全体では前年度比3.9%増の3,676億4千万円となりました。

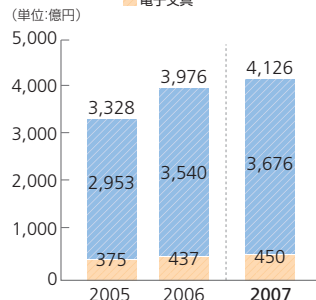
●電子文具

欧州とアジアで堅調に推移し、為替のプラス影響もあり全体では前年度比3.0%増の449億7千3百万円となりました。

〈営業利益〉 388億7百万円

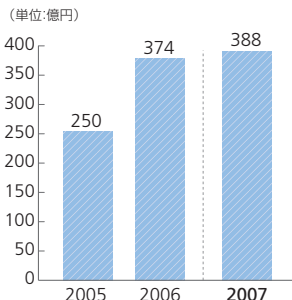
研究開発費などの増加があるものの、売上構成の改善と為替のプラス影響などにより前年度比3.7%増の388億7百万円となりました。

◎売上高

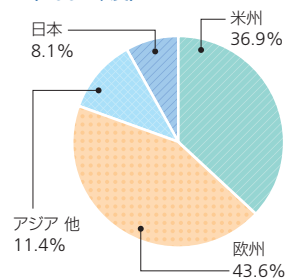


※2005年度の数値は、決算期変更による影響を調整した参考値です。

◎営業利益



◎市場別売上高の構成比 (2007年度)



新製品



ジャスティオ
モノクロレーザープリンタ
「HL-2170W」

1分間に21枚の高速印刷と置く場所を選ばないコンパクトさを両立。厚紙も反りなく印刷できるストレート排紙を採用したほか、ネットワークも標準搭載。さらに使いやすくなりました。



ジャスティオ
カラーレーザー複合機
「MFC-9440CN」

パーソナル・アンド・ホーム事業

〈事業紹介〉 家庭用ミシンや刺しゅう機を中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。従来型のミシンに加え、パソコンを介してインターネットに接続する“ソーイングステーション”など、製品とサービスを通して、手づくりの新しい可能性を広げます。

〈主要製品等〉 家庭用ミシン

〈売上高〉 337億8千9百万円

主に日本で減収となりましたが、全体では前年並みに推移し、前年度比1.3%減の337億8千9百万円となりました。

〈営業利益〉 33億9千7百万円

中・高級機種増加による売上構成の改善と、為替のプラス影響により、前年度比37.8%増の33億9千7百万円となりました。



新製品



ソーイングステーション
「Innovis (イノヴィス)
CR1000」

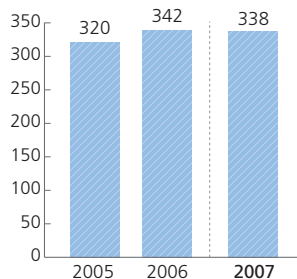
ブラザー創業100周年記念モデル。コンパクトながら多彩な刺しゅう模様を内蔵するとともに、スーパー糸通しやセミワイドテーブルを搭載するなど、細部まで使いやすさを追求しました。



ソーイングステーション
「Innovis (イノヴィス) 4000」

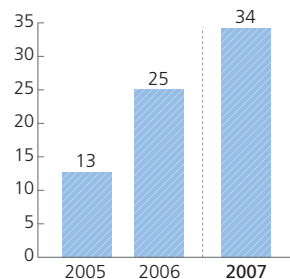
◎売上高 ■家庭用ミシン

(単位:億円)

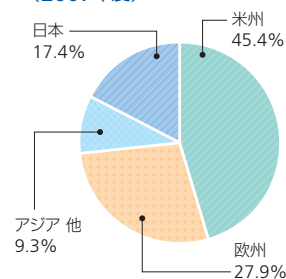


◎営業利益

(単位:億円)



◎市場別売上高の構成比
(2007年度)



※2005年度の数値は、決算期変更による影響を調整した参考値です。

マシナリー・アンド・ソリューション事業

〈事業紹介〉 使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用ミシンや、自動車やハードディスクドライブ、携帯電話などの部品加工業界に最適な工作機械の提案と密着したサポートを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

〈主要製品等〉 工業用ミシン、産業機器

〈売上高〉 678億2千4百万円

●工業用ミシン

主にトルコ向けで堅調に推移し、全体では前年度比2.3%増の352億3千8百万円となりました。

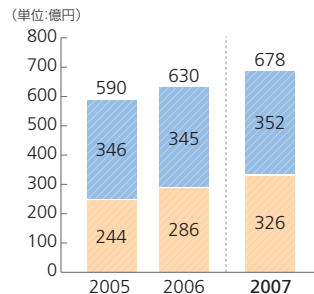
●産業機器

主に中国向けで好調に推移し、前年度比14.1%増の325億8千5百万円となりました。

〈営業利益〉 99億2千9百万円

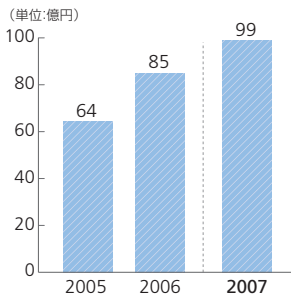
主に増収効果と売上構成の改善により、前年度比17.2%増の99億2千9百万円となりました。

◎売上高

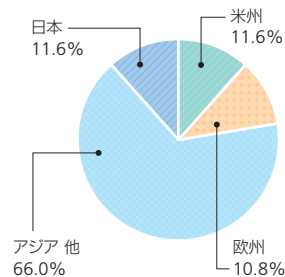


※2005年度の数値は、決算期変更による影響を調整した参考値です。

◎営業利益



◎市場別売上高の構成比 (2007年度)



新製品



ダイレクトドライブ
プログラム式電子ミシン
「BAS-342G」

縫い目で幾何学的な模様を作る縫製に使用するプログラム式電子ミシン。ダイレクトドライブ方式を採用し、世界最高クラスの縫製速度と業界トップの省エネを達成、高い生産性を実現します。



CNCタッピングセンター
「TC-31B CTS仕様」

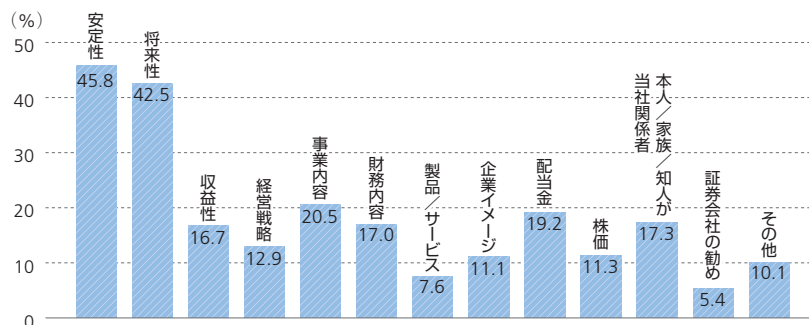
株主アンケート結果のご報告

当社では株主の皆様とコミュニケーションを図り、今後のIR活動をさらに充実させることを目的として定期的にアンケートを実施しています。昨年のアンケートにご協力いただきました株主の皆様へあらためて御礼を申し上げますとともに、その集計結果の一部をご報告いたします。

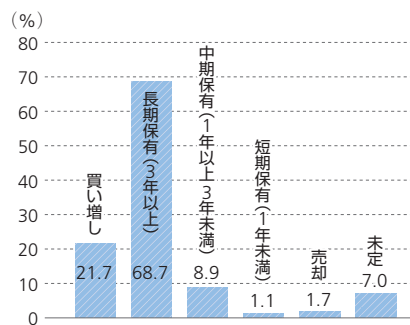
ご回答者属性

● 回答数 … 845名 (回答率 … 5.3%) ● 性別 … 男性 67.7% 女性 30.7%

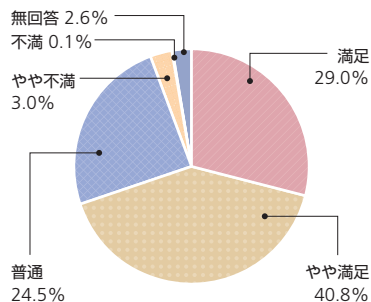
■ 当社株式を購入した理由を教えてください。(複数回答可)



■ 当社株式の今後の運用方針を教えてください。(複数回答可)



■ 株主として当社への評価を教えてください。



アンケートご協力をお願い

本年度も引き続き株主アンケートを実施いたします。
株主通信に同封のアンケートはがきにご記入の上、ご返信ください。
アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で
200名様に当社製品の電子文具「ピータッチ12」を
進呈いたします。

※なお、当選者の発表は製品の発送をもって
かえさせていただきます。



ピータッチ12

トピックス

ブラザーグループは創業100周年を迎えました

ブラザーグループは、1908年にミシン修理を営む「安井ミシン商会」として創業しました。ミシンの国産化に成功して以来、ミシン専門の時代を経て、積極的に事業の多角化を進め、タイプライターなどに進出。その後、プリンタやファクス、複合機など、プリンティング分野で大きく成長してきました。

ブラザーグループは、これからもお客様を第一に考える「At your side.」の精神を持ち続け、100年の歴史を未来につなげてゆくことで、世界中のお客様の役に立ち、信頼されるブランドであり続けるよう努力していきます。



1908 1928 1932 1961 1979 1980 1992 1995 2007 2008

創業100周年記念式典を開催

2008年4月14日、名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）にて、愛知県・名古屋市の関係者、財界関係者やビジネスパートナー、従業員など約3,000名が出席し、創業100周年の記



記念式典の様子

念式典が盛大に開かれました。式典では、社長の小池からのご挨拶のほか、ブラザーの創業から現在までの歩みを映像でご紹介しました。レセプションの後、名古屋フィルハーモニー交響楽団などの演奏による記念コンサートが開かれました。

東海若手起業塾を支援

近年、地域の活性化やさまざまな社会問題の解決にビジネスとして取り組む若者が増えていますが、これらの若手起業家の中には、事業経験や人的ネットワー



2008年4月開催の起業家選考会
クの不足などの課題を抱えている場合もみられます。このような課題の解決と事業の推進をサポートするため、ブラザーは創業100周年を記念した社会貢献活動の一環として、NPO法人ETIC.（エティック）などと協働で創設した「東海若手起業塾」に協賛しています。NPO法人4団体が共同運営する「東海若手起業塾」への支援を通じ、東海地域の活性化などに貢献していきます。

ブラザーエコポイント活動をスタート

創業100周年を記念し、ブラザーグループの従業員とその家族の行った「環境にかかわる活動」をポイント化する「ブラザーエコポイント活動」を2008年4月に開始しました。この活動は、マイバッグの使用や節水・節電などの省エネ、環境関連行事への参加など、環境に配慮した活動の内容に応じてブラザーがポイントを付与するものです。活動状況は従業員専用のウェブサイト上で公開されており、

ポイントの状況やどのような活動があるかなど、さまざまな情報を得られるようになっています。従業員やその家族の協力により貯まったポイントは、植林などの環境保全活動への寄付や環境関連イベントなどを通じて地域の環境保護活動に還元していく予定です。



●●● 森林保全活動を実施 ●●●

2008年2月に、岐阜県および郡上市と「企業との協働による森林づくり」※協定を締結しました。岐阜県郡上市内3ヶ所、合計24ヘクタールの「ブラザーの森 郡上」にて、地域住民の皆様



岐阜県・郡上市との協定締結式

協力を頂きながら、ブラザーグループ従業員やその家族による植樹の実施や、間伐の協力などの森林保全活動を行っていきます。植樹

地には今後10年間に約4,000本の広葉樹を植える予定です。

「ブラザーの森 郡上」は東海地域を流れる長良川の源流域にあり、この地域で森林保全活動を行うことにより、大気中のCO₂削減だけではなく、長良川水源の保全にも貢献していきます。今後は森林保全以外の環境保全活動への支援にも範囲を広げるとともに、海外のグループ会社でも同様の取り組みを進めるなど、グローバルに展開していく予定です。

※岐阜県が2007年に策定した「岐阜県森林づくり基本計画」内の「県民協働による森林づくりプロジェクト」の1つとして位置づけられたもので、県、地元市町村、企業が協力して行う森林づくり事業。

家庭用ミシン生産累計4,000万台を達成

ブラザーグループは2007年4月に家庭用ミシンの生産累計4,000万台を達成し、これを記念して同年11月に中国の珠海兄弟工業有限公司にて記念式典が開かれました。家庭用ミシンの生産は、1932年に当社初の家庭用ミシン「15種70型」を当時の伝馬町工場（名古屋市熱田



記念ミシンへの銘板取付

区)にて量産化したことが始まりで、現在は珠海兄弟工業有限公司と台湾ブラザーインダストリーズLTD.の2拠点で生産しています。ブラザーは国内初の電子ミシン(1976年)やコンピュータミシン(1979年)、世界最小・最軽量の家庭用刺しゅう機付きミシン(1998年)を発売するなど、家庭用ミシン市場の一翼を担ってきました。これからも市場の活性化につながる製品の開発に注力していきます。

(単位:百万円)

科目	2007年度 (2008年3月31日現在)	2006年度 (2007年3月31日現在)	増減
《負債の部》			
流動負債	129,931	161,567	△ 31,635
支払手形及び買掛金	35,541	39,719	△ 4,177
短期有利子負債	13,055	34,275	△ 21,220
未払法人税等	5,194	10,751	△ 5,556
その他	76,140	76,820	△ 680
固定負債	43,104	23,878	19,226
長期有利子負債	20,544	982	19,562
その他	22,560	22,896	△ 335
負債合計	173,035	185,445	△ 12,409
《純資産の部》			
株主資本	222,065	201,696	20,369
資本金	19,209	19,209	—
資本剰余金	16,134	16,129	4
利益剰余金	188,294	167,812	20,482
自己株式	△ 1,573	△ 1,455	△ 117
評価・換算差額等	△ 5,889	8,694	△ 14,583
その他有価証券評価差額金	948	5,207	△ 4,258
繰延ヘッジ損益	910	△ 1,840	2,750
土地再評価差額金	—	△ 0	0
為替換算調整勘定	△ 7,749	5,327	△ 13,076
新株予約権	121	62	59
少数株主持分	2,925	3,211	△ 285
純資産合計	219,223	213,663	5,559
負債及び純資産合計	392,259	399,109	△ 6,849

● **短期有利子負債・長期有利子負債**

ブラザー工業における社債の償還および発行や、為替の影響などにより、有利子負債は短期・長期合計で前期末に比べ17億円の減少となりました。

● **自己資本比率**

前期末から利益剰余金が205億円増加したことなどにより、自己資本比率は前期末と比べ2.4ポイント増加し、55.1%となりました。

連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2007年度 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	2006年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	増減
売上高	566,378	562,272	4,106
売上原価	326,373	334,925	△ 8,551
売上総利益	240,005	227,346	12,658
販売費及び一般管理費	186,501	176,091	10,410
営業利益	53,503	51,255	2,247
営業外収益	4,373	3,889	483
営業外費用	11,341	9,665	1,676
経常利益	46,535	45,479	1,055
特別利益	1,835	2,105	△ 269
特別損失	2,089	1,796	292
税金等調整前当期純利益	46,281	45,788	493
法人税等	19,196	16,883	2,312
少数株主損益	△ 24	29	△ 53
当期純利益	27,110	28,874	△ 1,764

売上高

事業譲渡などの影響があるものの、通信・プリンティング機器や産業機器が堅調に推移したことや、主にユーロに対する為替のプラス影響などにより増収となりました。

営業利益

研究開発費を含む販管費の増加があるものの、為替のプラス影響などにより増益となりました。

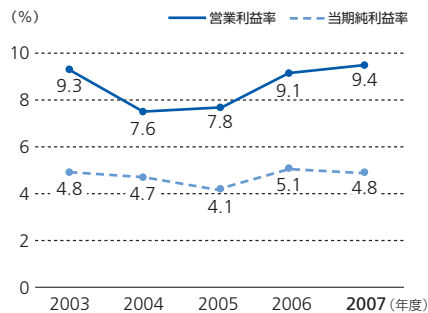
経常利益

営業外で為替差損が増加しましたが、営業利益の増加により増益となりました。

当期純利益

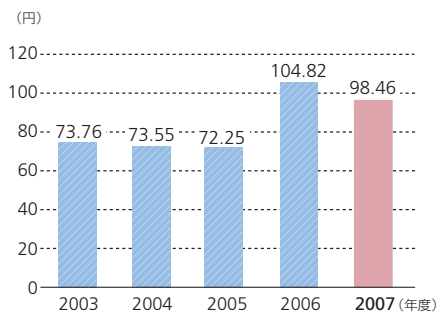
税効果会計の影響による法人税等調整額の増加により減益となりました。

営業利益率・当期純利益率



※2005年度の数値は、決算期変更による影響を調整した参考値です。

1株当たり当期純利益



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2007年度 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	2006年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,215	47,773	10,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,317	△ 35,864	6,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,972	△ 6,693	△ 279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9,082	4,197	△ 13,279
現金及び現金同等物の増減額	12,842	9,413	3,428
現金及び現金同等物期首残高	70,376	59,990	10,386
新規連結・合併による現金増加	—	972	△ 972
現金及び現金同等物期末残高	83,218	70,376	12,842

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が463億円となったほか、減価償却費などの非資金損益の調整などにより、全体では582億円の資金の増加となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出223億円、無形固定資産の取得による支出59億円などにより、293億円の資金の減少となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払などにより、全体では70億円の資金の減少となりました。

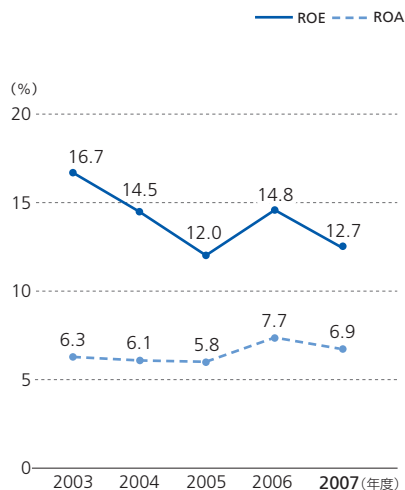
株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

(2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算 差額等合計	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	19,209	16,129	167,812	△ 1,455	201,696	8,694	62	3,211	213,663
当連結会計期間中の変動額	—	4	20,482	△ 117	20,369	△ 14,583	59	△ 285	5,559
剰余金の配当	—	—	△ 6,630	—	△ 6,630	—	—	—	△ 6,630
当期純利益	—	—	27,110	—	27,110	—	—	—	27,110
自己株式の取得/処分	—	4	—	△ 117	△ 113	—	—	—	△ 113
その他	—	—	3	—	3	△ 14,583	59	△ 285	△ 14,806
当期末残高	19,209	16,134	188,294	△ 1,573	222,065	△ 5,889	121	2,925	219,223

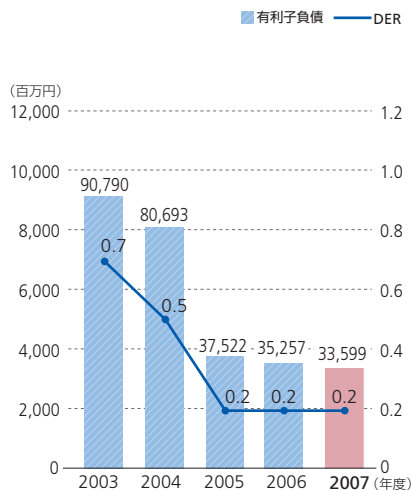
連結経営指標

ROE・ROA



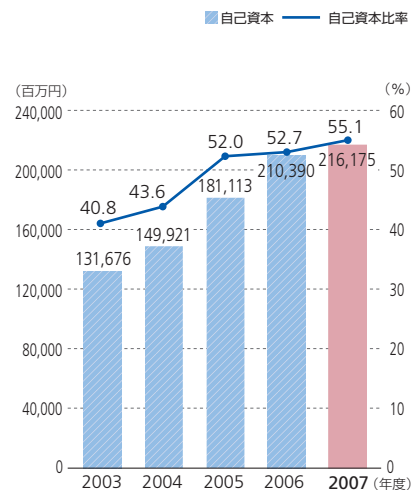
※ROE=当期純利益/自己資本(期首・期末平均)
 ※ROA=当期純利益/総資産(期首・期末平均)

有利子負債・DER



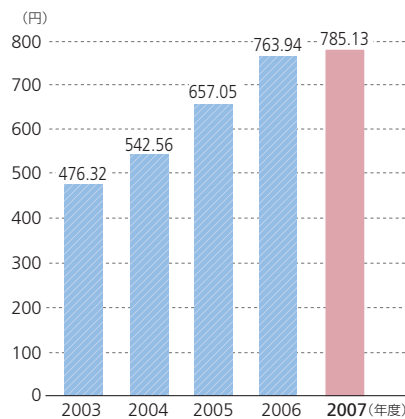
※DER=有利子負債/自己資本

自己資本・自己資本比率



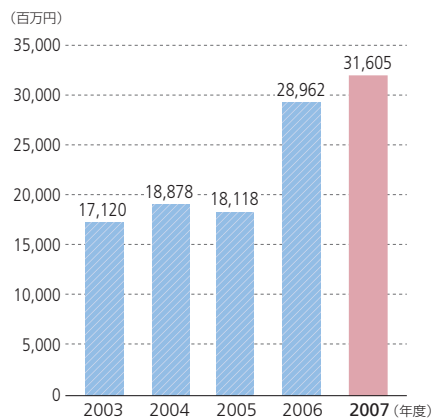
※自己資本比率=自己資本/総資産

1株当たり株主資本

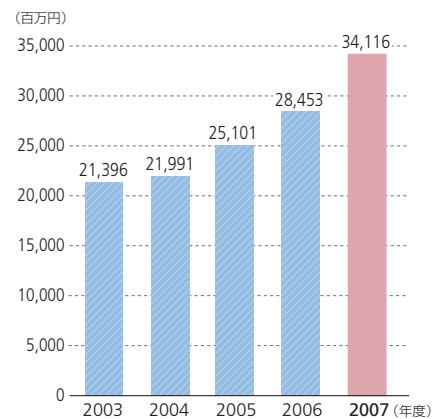


※2005年度の数値は、決算期変更による影響を調整した参考値です。

設備投資額



研究開発費



単独財務諸表

貸借対照表(要旨)

2008年3月31日現在 (単位:百万円)

《資産の部》	
流動資産	64,831
現金及び預金	13,844
受取手形及び売掛金	30,939
たな卸資産	8,206
その他	11,840
固定資産	176,939
有形固定資産	43,413
建物及び構築物	18,497
機械装置及び運搬具	6,818
工具・器具及び備品	8,808
土地	7,995
その他	1,294
無形固定資産	11,432
投資その他の資産	122,093
資産合計	241,771

《負債の部》

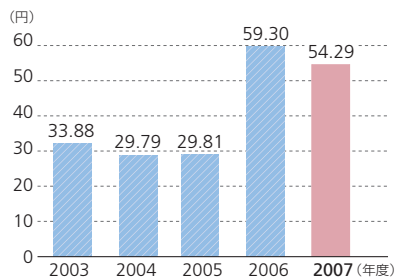
流動負債	63,098
支払手形及び買掛金	23,048
短期有利子負債	11,400
未払法人税等	919
その他	27,729
固定負債	26,888
社債	15,000
その他	11,888
負債合計	89,987
《純資産の部》	
株主資本	149,294
資本金	19,209
資本剰余金	16,131
利益剰余金	115,144
自己株式	△ 1,191
評価・換算差額等	2,367
新株予約権	121
純資産合計	151,783
負債及び純資産合計	241,771

損益計算書(要旨)

2007年4月1日から
2008年3月31日まで (単位:百万円)

売上高	373,606
売上原価	290,074
売上総利益	83,532
販売費及び一般管理費	56,133
営業利益	27,399
営業外収益	2,395
営業外費用	7,977
経常利益	21,817
特別利益	1,568
特別損失	1,390
税引前当期純利益	21,995
法人税等	6,997
当期純利益	14,997

1株当たり当期純利益



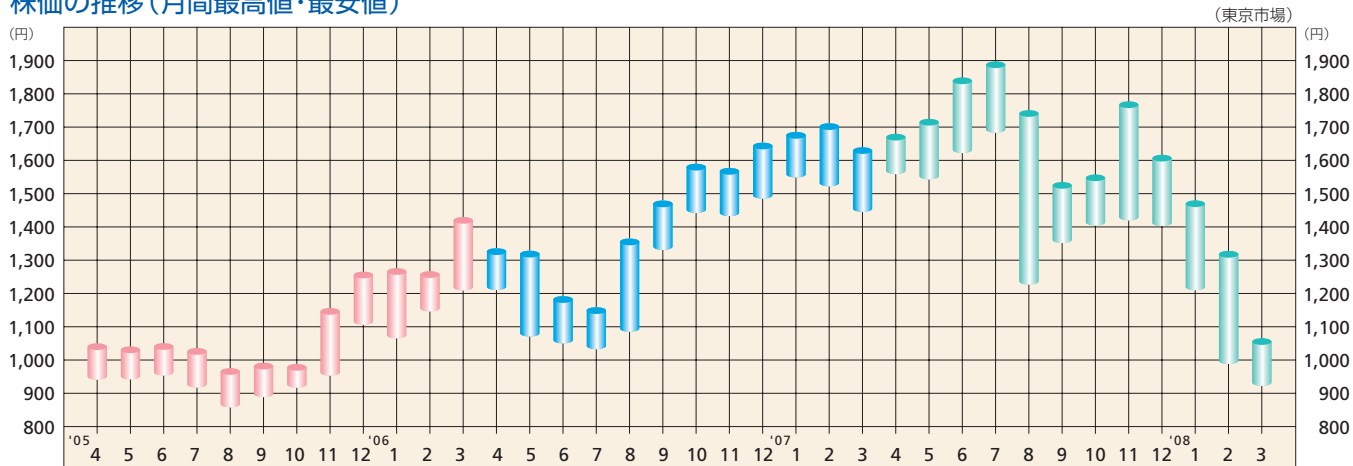
株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

(2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算 差額等合計	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
前期末残高	19,209	16,126	106,777	△ 1,081	141,032	3,404	62	144,498
事業年度中の変動額	—	4	8,366	△ 109	8,262	△ 1,036	59	7,285
剰余金の配当	—	—	△ 6,630	—	△ 6,630	—	—	△ 6,630
当期純利益	—	—	14,997	—	14,997	—	—	14,997
自己株式の取得/処分	—	4	—	△ 109	△ 104	—	—	△ 104
その他	—	—	—	—	—	△ 1,036	59	△ 976
当期末残高	19,209	16,131	115,144	△ 1,191	149,294	2,367	121	151,783

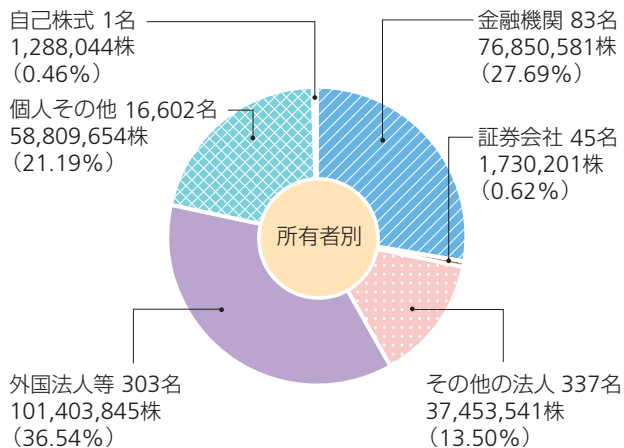
株式の状況

株価の推移 (月間最高値・最安値)



株式の分布状況 (2008年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………600,000,000株
- 発行済株式総数……………277,535,866株
- 株主総数……………17,371名



大株主 (上位10名)

(2008年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
スチールパートナーズジャパン ストラテジックファンドオブシヨアエルピー	33,250	11.98
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー※	23,019	8.29
日本生命保険相互会社	13,880	5.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)※	13,367	4.82
株式会社三井住友銀行	8,398	3.03
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)※	5,777	2.08
朝日実業株式会社	4,660	1.68
住友生命保険相互会社	3,849	1.39
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,796	1.37
サジャップ	3,786	1.36

注1:出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

注2:※印のある株主の所有株式は、全て当該各社の信託業務にかかる株式です。

会社の概要

基本データ (2008年3月31日現在)

商号	ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社	〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 TEL:052-824-2511 (代表)
設立	1934年1月15日
資本金	192億9百万円
従業員	連結:23,809名 単独:3,125名
グループ会社	連結子会社52社、持分法適用会社8社 (日本17社、米州9社、欧州19社、アジアその他15社)

役員 (2008年4月1日現在)

[取締役]

安井 義博	取締役会長
平田 誠一	代表取締役副会長
小池 利和	※代表取締役社長
石川 茂樹	※取締役 専務執行役員 第1開発部、LE開発部、第2開発部、 BH開発部、第3開発部、ES開発部、 プリンティング研究部、総合デザイン部、 開発管理部、知的財産部、技術開発部、 NID開発部、N&C事業推進部、 ネットワークソリューションズSBU 管掌
古河 勇治	※取締役 専務執行役員 営業企画部、商品企画部、製造企画部、 製造部、生産技術部、購買部、部材保証部、 QM推進部、CS推進部、環境推進部 管掌
小池 幸文	※取締役 常務執行役員 CSR推進部、人事部、広報・総務部、 財務部、IT戦略推進部 管掌
新美 春之	取締役
海野 みづえ	取締役

[監査役]

藤嶋 喬	常任監査役 (常勤)
杉坂 光一	常任監査役 (常勤)
滝沢 正明	監査役
山崎 克之	監査役

[常務執行役員]

末藤 昭昭	100周年事業推進部 担当 兼 100周年事業推進部長
高次 正樹	パーソナル・アンド・ホーム カンパニー プレジデント
浅井 侯序	CSR推進部、人事部 担当 兼 人事部長
長谷川友之	広報・総務部 担当 兼 広報・総務部長
大島 伸康	総合デザイン部、開発管理部、知的財産部 担当 兼 知的財産部長
石川 博	製造部、生産技術部、購買部、部材保証部 担当
藤井 宗高	財務部、IT戦略推進部 担当 兼 財務部長
亀之内孝文	経営企画部 担当 兼 経営企画部長
川那辺 祐	マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー プレジデント
寺澤 正明	QM推進部、CS推進部、環境推進部 担当 兼 QM推進部長
松本 勇美夫	第1開発部、LE開発部、第2開発部、BH開発部、第3開発部、 ES開発部、プリンティング研究部 担当 兼 LE開発部長
神谷 純	技術開発部、NID開発部、N&C事業推進部、 ネットワークソリューションズSBU 担当

[グループ常務執行役員]

片山 俊介	ブラザー販売株式会社 代表取締役社長
-------	--------------------

注1:※印の各氏は執行役員を兼務しています。

注2:取締役 新美 春之、海野 みづえは社外取締役です。

注3:監査役 藤嶋 喬、滝沢 正明、山崎 克之は社外監査役です。

展示館のご案内



ブラザー コミュニケーション スペース

主力製品の情報通信機器をはじめとして、様々な製品を展示しているほか、各種企画展示も行っています。2008年4月に展示スペースを拡張し、世界初といわれるミシンからブラザーのミシン、そして現在へと連なる歴史とともに技術の変遷をたどる製品展示を通して、モノ創りの精神をご紹介します。皆様との対話のためのおもてなし空間へ、是非お越しください。
(見学は要事前予約)



<http://www.brother.co.jp/bcs/index.htm>

〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町5番15号
TEL : 052-824-2227

ブラザー工業株式会社

本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561



環境に優しい「水なし印刷」を採用。
大気中に揮発性有機物を
排出しません。

VOC
FREE

インキの石油系溶剤を
大豆油主体とした
植物系溶剤に100%置き換え、
VOC(揮発性有機化合物)
フリーとしました。



ミックス品

FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1544
© 1996 Forest Stewardship Council

株主メモ

事業年度 ……………4月1日～翌年 3月31日
定時株主総会 ……………毎年 6月
期末配当金受領株主確定日……………3月31日
中間期末配当金受領株主確定日……………9月30日
基準日 ……………3月31日
公告掲載URL

…………… <http://www.brother.co.jp/jp/investor/>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子広告に
よることができないときは、日本経済新聞に公告します。

株式の名義書換

■株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081

■同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

野村證券株式会社 本店および全国各支店

※各種お手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部へお問い合わせください。

◎お問合せ先 ……………0120-232-711 (通話料無料)

◎各種お手続き用紙のご請求
……………0120-244-479 (通話料無料)

◎ホームページアドレス

……………<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株券電子化について

2009年1月より、当社を含む上場会社の株券が電子化される予定です。株券電子化が実施されますと、株主の権利は電子的に証券会社の口座で管理されます。

お手許の株券がご本人名義になっていない場合は、お早めに名義書換手続きをお済ませください。